



2026年3月期 第1四半期決算短信(日本基準)(連結)

2025年8月8日

上場会社名 川辺株式会社

上場取引所 東

コード番号 8123 URL <https://www.kawabe.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 岡野 将之

問合せ先責任者 (役職名) 取締役経営管理統括本部長 (氏名) 有田 二郎

TEL 03-3352-7110

配当支払開始予定日 —

決算補足説明資料作成の有無 : 無

決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2026年3月期第1四半期の連結業績(2025年4月1日～2025年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2026年3月期第1四半期	3,048	12.1	23	—	52	—	34	—
2025年3月期第1四半期	2,718	2.3	185	—	159	—	184	—

(注) 包括利益 2026年3月期第1四半期 14百万円 (—%) 2025年3月期第1四半期 87百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2026年3月期第1四半期	19.08	—
2025年3月期第1四半期	101.21	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2026年3月期第1四半期	12,331	7,011	56.9
2025年3月期	12,407	7,087	57.1

(参考) 自己資本 2026年3月期第1四半期 7,011百万円 2025年3月期 7,087百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2025年3月期	—	—	—	50.00	50.00
2026年3月期	—	—	—	—	—
2026年3月期(予想)	—	—	—	50.00	50.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2026年3月期の連結業績予想(2025年4月1日～2026年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	13,470	5.5	229	25.4	379	9.1	225	45.3	123.28

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更 : 無

新規 — 社 (社名) 、 除外 — 社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

以外の会計方針の変更 : 無

会計上の見積りの変更 : 無

修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

期末発行済株式数 (自己株式を含む)

2026年3月期1Q	1,861,000 株	2025年3月期	1,861,000 株
2026年3月期1Q	36,170 株	2025年3月期	36,170 株
2026年3月期1Q	1,824,830 株	2025年3月期1Q	1,825,259 株

期末自己株式数

期中平均株式数 (四半期累計)

添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー : 無

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。

また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	4
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
四半期連結損益計算書	7
第1四半期連結累計期間	7
四半期連結包括利益計算書	8
第1四半期連結累計期間	8
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(会計方針の変更)	9
(重要な後発事象)	9
(セグメント情報等の注記)	10
(キャッシュ・フロー計算書に関する注記)	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間(2025年4月1日～2025年6月30日)における国内経済は、経済活動の正常化が進み、企業業績や雇用・所得環境の改善が続く中、回復基調を維持しました。加えて、賃上げの浸透や大阪・関西万博開催でのインバウンド需要も追い風となり、個人消費は堅調に推移しました。一方で、地政学リスクの高まりや、日銀によるマイナス金利解除に伴う金利上昇など、先行きに対する慎重な見方も広がっています。為替市場では円安基調が続いているものの、一時の急激な変動はやや落ち着きを見せています。物価高についてはピークアウトの兆しが見られるものの、節約志向は根強く、消費者マインドの不安定さは残りました。

当社の主要販路の一つである百貨店業態においては、訪日外国人観光客による高価格帯商品の購入が一部都心店舗に集中する一方で、全国的にはその効果が限定的であり、特に国内消費者による中高価格帯商品の買い控え傾向も強まっております。この結果、全体として百貨店業態は前年を下回る水準で推移し、低調な傾向が鮮明となってまいりました。

こうした経営環境のもと、当社グループでは、「中期経営計画2023 NEXT」の最終年度として、生産から販売までの垂直統合型サプライチェーンを活かし、生産性の向上、コスト削減、そしてオリジナルブランドの強化を進め、企業価値、顧客満足度、資産価値の向上を目指す体制強化を図ってまいりました。

当第1四半期連結累計期間においては、円安によるインバウンド需要の高まりにより、主要販路である百貨店市場は堅調に推移しました。一方、量販店市場では、節約志向の強まりにより売上が苦戦しました。為替変動による収益への影響を受けつつも、グループ連携の強化、コスト対策、既存販売店への新たな提案活動や新規市場開拓に取り組みました。

その結果、当社グループの当第1四半期連結累計期間の業績は、売上高30億48百万円(前年同期比112.1%)、営業利益23百万円(前年同期営業損失1億85百万円)、経常利益52百万円(前年同期経常損失1億59百万円)、親会社株主に帰属する四半期純利益34百万円(前年同期親会社株主に帰属する四半期純損失1億84百万円)となり、前第1四半期連結累計期間の業績から大きく改善をいたしました。

セグメントの業績は、以下のとおりであります。

身の回り品事業

ハンカチーフにつきましては、日本製大判プリントハンカチーフが主力取引先百貨店においてインバウンド需要を中心に大幅な売上伸長が出来たことに加え、既存取引先との新規取り組み獲得により売上を伸長いたしました。

また、新アイテムである「手ぬぐい」による商業施設などでのイベント開催や百貨店内でのプロモーション等これまで強化してきました新規販路の開拓並びに新規イベントの参加増を推し進める戦略により、新たな売上を作ることができました。加えて、盛夏アイテムとして新たに展開した「包める保冷ハンカチーフ」も好評価をいただき自社直営店舗や、百貨店婦人雑貨売場内において売上を構築することができました。

また日本国際博覧会「大阪・関西万博」の関連商品も博覧会の盛り上がり 가속される中で開会より現在も継続して大きな売上の構築に寄与しております。

その結果、ハンカチーフアイテム全体の売上は前年比123.7%と大きく伸長することが出来ました、同時に商品の価格見直しにより利益率アップとなり利益面でも大きくプラスとなりました。

スカーフ・マフラーにつきましては、シルクスカーフが好調に推移し、春夏の繁忙期である母の日需要を取り込むことができたものの、ここ数年好調に推移しておりました当社におけるスカーフカテゴリーに分類されるニコライバークマンブランドの晴雨兼用傘が天候不順の影響により低迷した結果、売上は前年比89.5%となりました。

タオル・雑貨につきましては、テレビ通販部門で取り扱うリビングタオルについて効率アップを目的としたオンエア規模縮小を図ったことの影響から、売上は前年比94.0%となりました。

その結果、当第1四半期連結累計期間の身の回り品事業での売上は、前年比115.5%となりました、また全アイテムにおいて原価削減策が功を奏し、売上総利益率は前期に比べ7.8ポイントの改善となりました。

フレグランス事業

フレグランス事業の百貨店部門につきましては、全国の百貨店における売上が前年の極めて高い水準からの反動と、高額品に対するインバウンド需要の冷え込みが重なり、前年と比べ大きく減少したことの影響から百貨店内に出店している当社フレグランス店舗の売上は前年と比べ減少となりました。特に複数ブランドを集積して販売している店舗については、苦戦を強いられた結果となりました。また前年好調だったCREED伊勢丹本店、ACQUA DI PARMA銀座シックス店においても、インバウンド需要減少の影響を受け苦戦いたしました。一方、3月にオープンしたVan Cleef & Arpels新宿高島屋店が当初の計画を大幅に上回る結果となりました。

ホールセール部門につきましては、2次流通向け卸売りは、前年と同様に減少傾向でありましたが、売買益額の高いブランドブティック向けの卸売りが前年と比べ伸長しました。

その結果、当第1四半期連結累計期間のフレグランス事業全体の売上は前年比96.2%と減少したものの、売上総利益率につきましては前期に比べ3.9ポイントの改善となりました。

以上のことから全事業といたしましては、スカーフ・マフラー、タオル・雑貨・フレグランスは前年同期を下回ったものの、主軸アイテムであるハンカチーフにおいては前年同期比123.7%と大きく伸長いたしました結果、売上高は前第1四半期連結累計期間と比べ112.1%と大幅に伸長いたしました。

また、前連結会計年度から継続しているグループ連携によるコスト対策及び商品価格の見直しを行った結果、売上総利益率は前年同期と比べ6.8ポイントを上回る結果となり、売上総利益は大幅な増加となりました。

一方で販売費及び一般管理費が増加した結果となりました。これは前連結会計年度に引き続き、新規出店などの案件に対しての先行投資によるものでありますが、売上総利益の大幅な増加の影響により、営業利益、経常利益、親会社株主に帰属する四半期純利益は共に黒字転換となり、前年同期と比べ大幅な増加となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第1四半期連結累計期間における「資産合計」は、前連結会計年度末の124億7百万円から123億31百万円となりました。これは主として、現金及び預金の増加、受取手形及び売掛金の減少、商品及び製品の増加によるものであります。

「負債合計」は、前連結会計年度末に比べ0.3百万円増加し、53億20百万円となりました。

これは主として、支払手形及び買掛金の増加、短期借入金の減少、長期借入金の減少によるものであります。

また、「純資産合計」は前連結会計年度末に比べ76百万円減少し、70億11百万円となりました。

この結果、当第1四半期連結累計期間における総資産は、前連結会計年度末の124億7百万円から123億31百万円となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2026年3月期の連結業績予想につきましては、2025年5月12日発表の「2025年3月期決算短信」の連結業績予想から変更しておりません。

今後、何らかの変化がある場合には適切に開示してまいります。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2025年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2025年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,360,532	1,572,261
受取手形及び売掛金	2,144,566	1,575,945
商品及び製品	2,837,928	3,035,241
仕掛品	107,715	77,010
原材料及び貯蔵品	202,375	208,645
その他	259,165	268,643
貸倒引当金	△183	△161
流動資産合計	6,912,100	6,737,586
固定資産		
有形固定資産		
建物（純額）	781,744	767,937
工具、器具及び備品（純額）	105,960	102,250
土地	1,099,724	1,099,724
その他（純額）	70,524	81,149
有形固定資産合計	2,057,953	2,051,062
無形固定資産	214,298	209,492
投資その他の資産		
投資有価証券	1,154,883	1,274,711
投資不動産（純額）	1,567,462	1,561,335
繰延税金資産	93,918	94,254
その他	406,843	403,029
投資その他の資産合計	3,223,107	3,333,331
固定資産合計	5,495,359	5,593,885
資産合計	12,407,460	12,331,471

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2025年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2025年6月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,836,626	2,028,826
短期借入金	1,950,000	1,800,000
1年内返済予定の長期借入金	128,920	128,974
未払法人税等	14,868	18,106
賞与引当金	36,330	14,963
その他	575,532	554,000
流動負債合計	4,542,277	4,544,870
固定負債		
長期借入金	195,090	162,806
退職給付に係る負債	374,285	402,198
資産除去債務	49,376	49,433
繰延税金負債	16,601	18,869
その他	142,124	141,883
固定負債合計	777,477	775,191
負債合計	5,319,755	5,320,061
純資産の部		
株主資本		
資本金	100,000	100,000
資本剰余金	3,391,067	3,391,067
利益剰余金	3,319,403	3,262,990
自己株式	△55,614	△55,614
株主資本合計	6,754,857	6,698,443
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	269,631	281,412
繰延ヘッジ損益	78	△7,684
為替換算調整勘定	41,526	38,381
退職給付に係る調整累計額	21,611	857
その他の包括利益累計額合計	332,847	312,966
純資産合計	7,087,704	7,011,409
負債純資産合計	12,407,460	12,331,471

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年6月30日)
売上高	2,718,498	3,048,784
売上原価	1,651,101	1,644,614
売上総利益	1,067,396	1,404,169
販売費及び一般管理費	1,252,576	1,380,528
営業利益又は営業損失(△)	△185,180	23,640
営業外収益		
受取利息	3	1
受取配当金	8,227	11,332
投資不動産賃貸料	40,376	44,965
その他	11,127	7,856
営業外収益合計	59,735	64,156
営業外費用		
支払利息	6,145	8,044
不動産賃貸費用	21,666	20,703
持分法による投資損失	5,829	5,945
その他	828	981
営業外費用合計	34,469	35,675
経常利益又は経常損失(△)	△159,913	52,121
特別損失		
固定資産除売却損	341	—
特別損失合計	341	—
税金等調整前四半期純利益又は 税金等調整前四半期純損失(△)	△160,255	52,121
法人税等	24,491	17,294
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△184,747	34,827
非支配株主に帰属する四半期純利益	—	—
親会社株主に帰属する四半期純利益又は 親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△184,747	34,827

四半期連結包括利益計算書
第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年6月30日)
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△184,747	34,827
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	92,076	11,781
繰延ヘッジ損益	617	△7,762
持分法適用会社に対する持分相当額	3,618	△3,145
退職給付に係る調整額	686	△20,754
その他の包括利益合計	96,999	△19,881
四半期包括利益	△87,747	14,946
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△87,747	14,946
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(会計方針の変更)

該当事項はありません。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。

(セグメント情報等の注記)

【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間(自 2024年4月1日 至 2024年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位: 千円)

	報告セグメント		合計	調整額 (注) 1	四半期連 結損益計 算書計上 額(注) 2
	身の回り品事業	フレグランス事業			
売上高					
外部顧客への売上高	2,249,390	469,108	2,718,498	—	2,718,498
計	2,249,390	469,108	2,718,498	—	2,718,498
セグメント損失(△)	△73,783	△35,999	△109,782	△50,130	△159,913

(注) 1. セグメント損失(△)の調整額△50,130千円には、棚卸資産の調整額△2,966千円と各報告セグメントに配分していない全社損益△47,164千円が含まれており、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費及び営業外損益であります。

2. セグメント損失(△)は、四半期連結損益計算書の経常利益又は経常損失(△)と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第1四半期連結累計期間(自 2025年4月1日 至 2025年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位: 千円)

	報告セグメント		合計	調整額 (注) 1	四半期連 結損益計 算書計上 額(注) 2
	身の回り品事業	フレグランス事業			
売上高					
外部顧客への売上高	2,597,693	451,090	3,048,784	—	3,048,784
計	2,597,693	451,090	3,048,784	—	3,048,784
セグメント利益又は セグメント損失(△)	167,229	△82,417	84,812	△32,690	52,121

(注) 1. セグメント利益又はセグメント損失(△)の調整額△32,690千円には、棚卸資産の調整額6,120千円と各報告セグメントに配分していない全社損益△38,811千円が含まれており、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費及び営業外損益であります。

2. セグメント利益又はセグメント損失(△)は、四半期連結損益計算書の経常利益又は経常損失(△)と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

(キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第1四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。

なお、第1四半期連結累計期間に係る減価償却費(無形固定資産に係る償却費を含む。)は、次のとおりであります。

	前第1四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年6月30日)
減価償却費	41,674千円	43,722千円